

定住外国人総合支援プランに対するご要望書

衆議院議員 猪口 邦子 様

「エスコラ・モモタロウ・オカヤマ」は昨年4月岡山県総社市に、中四国地方以西では初のブラジル人学校として、言葉の壁、文化の違いなどから不登校・不就学になっているブラジル人子弟に充実した教育を受けてもらおうと設立された学校です。

現在、世界的な景気後退の影響を受け、昨年後半から製造業を中心とする派遣社員の大量解雇が相次ぎ、派遣型での就労者が多い日系ブラジル人は窮地に立たされています。本校でも、保護者の失職により授業料が払えなくなり退学する生徒が増加し、最も多い時には24人が在籍していた生徒も昨年末には2人までに激減しました。

本校では、本当に教育機関が必要なのは親が失業中の今ではないかと考え、義務教育に当たる生徒については、1月から「授業料全面免除」に踏み切り、学校を退学していった生徒に対して復学を促しています。また、NPO法人の活動としても、ブラジル人学校運営を中心とした岡山県内の多文化共生社会推進活動を行っており、就業支援としての大人向け日本語教室の開催、総社市役所でのポルトガル語通訳などの事業も行っています。

本年1月9日、内閣府において「定住外国人施策推進室」が設置され、親の失業などで学費が払えずブラジル人学校に通えなくなった子供に対しての支援策が目玉になる緊急支援策が来月2月に決定され、「骨太の方針09」に盛り込まれるとの情報を得ました。総社市のブラジル人は昨年12月末現在で 616 人。静岡県浜松市などの「集住都市」に比べると規模が小さいだけに、その存在は見逃されがちです。

どうか私共の活動に対してご理解を頂き、特に以下の3項目についてご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- ① 「集住都市」以外の地域のブラジル人学校に対しても、地域の実態・ニーズに即した効果的な措置をお願いします。
- ② 経済的事情等により不登校・不就学になっているブラジル人子弟が、安心して教育を受けられるよう学費助成等に関する財政措置をお願いします。
- ③ 地域に住むブラジル人の就労を支援するための日本語講座の実施に対する所要の措置をお願いします。

平成 21 年 1 月 24 日

特定非営利活動法人ももたろう海外友好協会
理事長 枝松 孝典

